

日減水深の測定手法

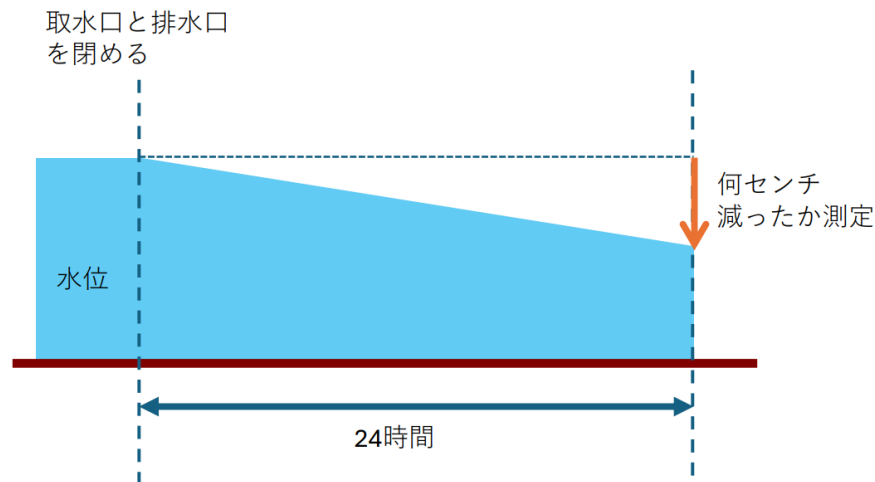
同一の管理(※)を行っている水田ごとに1か所、水張りから田植え後1週間後までの降雨のない24時間に日減水深を測定する必要があります。(用水の取水口・排水口の両方を閉じた条件)

以下、「撮影イメージ」を参考に①減少結果(固定されていない巻き尺での測定はNG)、②測定年月日、③圃場住所(個人・会社の住所はNG)がわかる写真(測定開始時・測定終了時の2枚)をお送りください。

(※)中干しの実施日数(中干し延長を行う年は開始日・終了日も)、出穂日、稲わら持ち出し・堆肥施用の状況が同一であること。

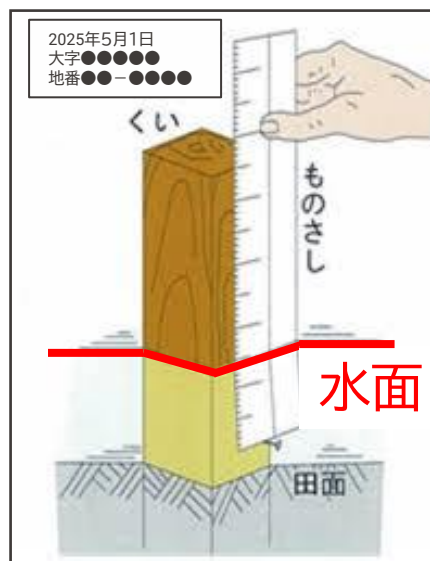
- 水管理システムや水位センサー等による計測の場合は、測定記録(測定開始時及び終了時の水位、日時及び地点の記録)
- 水管理システムや水位センサー等によらない計測(定規での計測等)の場合は、写真(測定開始時及び終了時に、定規等の水面の目盛り部分を撮影したもの。1ミリ単位での測定、撮影日時と撮影地点を紙に書いて写真に写るように撮影)

日減水深の参考図・測定方法ルール

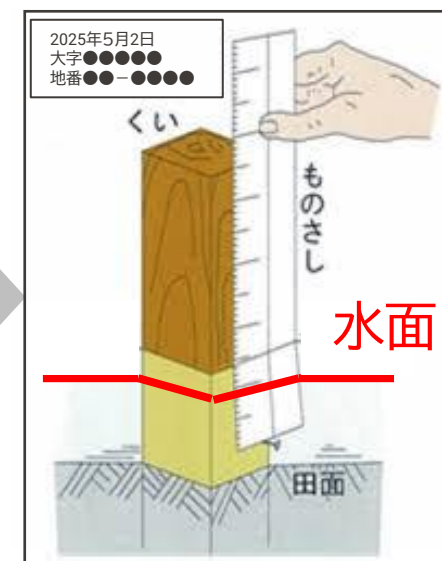


撮影イメージ

測定開始時に撮影



測定終了時に撮影



※出典

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/kokuei/shinacho/attach/pdf/koho-52.pdf>